

財団法人8020推進財団

平成21年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： — 福岡発 介護予防キャンペーン —
「祝いめでた 足・元気！お口・元気！食・元気！」事業

2. 申請者名：福岡市食生活改善推進員協議会 会長 藤田 佳世子

3. 実施組織：【主催】福岡市食生活改善推進員協議会（福岡市地域保健課）
【共催】福岡市歯科医師会（地域歯科医療委員会）
【協力】福岡県歯科衛生士会
九州歯科大学摂食機能リハビリテーション学分野

4. 事業概要：

本市の効果的な介護予防対策として、食育を推進するボランティア団体「食生活改善推進員協議会（以下、食進会という）」と歯科保健医療を担う専門団体「歯科医師会」が協働し、歯科衛生士会や大学の協力も得て、地域で、介護予防3事業「運動機能の向上」「口腔機能の向上」「低栄養改善」の一体的展開を目指す事業を実施した。

*期待される成果

- 1 本市、地域で「口腔機能向上」が介護予防3事業の一環として一体的に展開できる。
- 2 「健康日本21福岡市計画・中間見直し」で設定した目標値(H24)“8020率(75～84歳で20本以上自分の歯を有する人)35%以上”の達成を目指す。

5. 事業内容：

①福岡発「祝いめでた体操 — お口バージョン — 」および「祝いめでたレシピ」の作成

福岡市では、市民が親しめる介護予防（転倒予防）体操として、福岡発「祝いめでた体操」を作成し、地域での普及活動を開始しているが、推進の一翼を食進会が担っている。

さらに、介護予防の3本柱「運動機能の向上」「口腔機能の向上」「低栄養改善」事業を一体的に進めるため、「祝いめでた体操—お口バージョン—」を歯科衛生士会や大学の協力で作成するとともに、食進会が高齢者向けの「祝いめでたレシピ」を作成した。

②食生活改善推進員「健康日本21・8020運動」研修会

食生活改善推進員を対象に、歯科保健に関する基礎的な知識の普及を目的とした研修会を実施した。今後、継続的な研修となるよう、毎年、各保健所（7か所）で開催される「食生活改善推進員養成教室」の講義に位置付け、講師を福岡市歯科医師会会員（地域歯科医療委員会）が担当した。

③「祝いめでた 足・元気！お口・元気！食・元気！」モデル事業

食進会と歯科医師会が協働して、公民館等で高齢者対象に、「運動機能向上」「口腔機能向上」「低栄養改善」の介護予防教室をモデル実施した。

6. 今後の課題：

①福岡市「歯の健康づくり」の目標

市民が、生涯、できる限り住み慣れた地域で、いきいきと健康に暮らせるようになるため、8020を目指した「歯の健康づくり」を進めるとともに、高齢者の生活の自立を促す介護予防事業を、積極的に、市民および関係者が協働で推進していく必要がある。

②「歯の健康づくり」と「食育」の連携

福岡市では、すでに、歯の衛生週間事業のイベント等で、食育と連携した普及啓発を開始していたが、さらに、様々なライフステージで、歯の健康づくりと食育の連携した視点での事業展開が必要になってくる。